

第66回 平成28年度

# 河北文化賞



公益財団法人 河北文化事業団



# 河北文化賞について

公益財団法人河北文化事業団理事長

一 力 雅 彦

河北文化賞は、東北に住む人々の生活、文化の向上を願い、東北の学術、芸術、体育、産業、社会活動の各部門で顕著な業績を挙げた個人、団体を顕彰しようと、河北新報社が昭和26年に創設いたしました。

地域の発展は、産業の振興を基盤としつつも、それを担う住民の安定的な生活、さらには文化、教育といった分野の充実も欠くことのできない大きな要素となります。河北新報社はいち早くそうした点に着目、東北という大きな視座に立ちながら、第一線でたゆまぬ活動を続ける個人、団体をたたえ、励まして参りました。

昭和30年に事業主体を財団法人河北文化事業団（平成25年1月から公益財団法人）へと引き継ぎ、その後、東北放送、財団法人東北放送文化事業団（同年9月から公益財団法人）の参画を得て今日に至りました。東北の最も権威ある文化賞として歩み続け、今回の贈呈式で66回となります。

河北文化賞の創設から60年目の平成23年3月11日、東日本大震災が発生。宮城、岩手、福島を中心に、地震と大津波、原発事故による未曾有の被害がもたらされました。あの日から、間もなく6年がたとうとしています。この間、復興・復興への取り組みが国を挙げて続けられていますが、穏やかな暮らしを取り戻すための根本的な対策についてはまだ道半ばで、震災が忘れ去られる「風化」や、原発事故の被災地、被災住民に対する言われのない「風評」を指摘する声も聞かれます。

こうした状況を打破して被災地を再生させるために、東北は心をひとつにしていかねばなりません。手を取り合って前に進み、東北から日本を変えていく気概が求められております。

河北文化賞においては、地道な業績を積み重ね、東北の人々の幸せのため寄与した方々、東北の発展のために尽力した方々を顕彰してきました。これまでの受賞者各位のたゆまざる研鑽（さん）が東北の向上に貢献し、ひいてはわが国発展の礎石となっていることを振り返るまでもなく、今後の復興促進の一助になり得ると信じます。また、東北の文化やスポーツを支え続けてきた点も、被災された方々の内面に希望の灯をともし、再生への強い意志を持っていたことにちながっていくであろう、と考えます。

河北新報は明治30年1月17日、古くは大和朝廷から「蝦夷（えぞ）」と蔑視され、下っては薩長などによる明治政府からも「賊軍」「一山百文」と軽視された白河以北の振興をはかろうと、東北振興、不羈独立を社是に創刊されました。今日1月17日は数えて120周年の記念すべき日となりました。人にととえるなら還暦を二回りする大還暦のめでたい節目に、第66回河北文化賞の贈呈式を開催できますことを大変意義深く感じております。

河北文化事業団をはじめとする河北文化賞主宰団体は、この創刊の趣旨をよくかみしめながら、東北を愛し、発展させる立場で、引き続き優れた業績の発掘とその顕彰に力を尽くして参る所存です。

## 第66回河北文化賞受賞者とその業績

### 東北地方および世界の小児医療向上への貢献

宮城県立こども病院名誉院長 大 井 龍 司 さん(76)

(推挙者 アイリスオーヤマ代表取締役社長 大山 健太郎)

東北初の子ども専門総合病院「宮城県立こども病院」(仙台市青葉区)の開設に尽力した。それまでの小児医療は大人の規格で行われ「大学の教室で幼稚園をやるようなものだった」と振り返る。

「東北にないから造るのではない。必要だから造りましょう」と精力的にキャンペーンを展開。署名活動では自ら街頭に立った。

設置決定からの7年間はハード、ソフト両面の準備に奔走した。とりわけ全国で不足する小児専門医の確保は難航を極め、各地の病院や医学部を訪ね歩いた。



子どもの胆道閉鎖症治療について語る大井さん

「全ての子どもにいのちの輝きを」「元氣の出るファミリーホスピタル」を理念に掲げるこども病院が開設したのは2003年11月11日。「安堵(あんど)と達成

感、感謝の気持ちでいっぱいだった」とその日を思い起こす。

昼夜を問わず診療に当たった父の背中を見て、医師を志望。東北大医学部第2外科に入局し、新しい分野だった小児外科へ進んだ。

「葛西式手術」を開発した故葛西森夫名誉教授の元で学んだ胆道閉鎖症治療はライフワークとなり、症例の全国登録制度を創設した。海外でも手術や講演を行い、国際シンポジウムを仙台で開いた。功績が認められて16年5月、世界小児外科学会連合から日本人2人目の「生涯業績賞」を贈られた。

「子どもは国の宝なのに、大切にされていない」と今も感じる。「全ての子どもが幸せに暮らす世の中になるよう、これからもお手伝いしたい」と語る。

おおい・りょうじ 1940年台湾高雄市生まれ。東北大医学部卒。専門は小児外科学。84年東北大医学部小児外科教授。

2003～08年宮城県立こども病院初代院長。東北大名誉教授。08年5月から仙台画像検診クリニック名誉院長。

## 多年にわたり漆工芸を通して東北の芸術文化の向上に寄与

漆芸家 湯 沢 則 雄さん(75)

（推挙者）  
湯 沢 市 長 齊 藤 光 喜  
現代工芸美術家協会東北会事務局長 平 澤 富 子

60年近くにわたり絵画的な漆工芸の技法を磨き続けてきた。今回の受賞について「大きな賞を頂き、身に余る光栄」と思いを語る。

秋田県工業試験場川連（かわつら）指導所で漆工芸を学び、伝統的工芸品「川連漆器」の産地として名高い稲川町（現湯沢市）で塗り師をしていた父の家業を継いだ。

「塗りの基本を教わった後は、漆を絵の具のように使う作品に挑戦した。伝統にとらわれずに自由にやらせてくれた時代だった」と振り返る。



仕事場で、長く歩んできた漆工芸の道を語る 啓澤さん

23歳で日展に初入選。蒔絵（まきえ）や沈金の技法を取り入れて表現力を向上させた。

日展特選に輝いたびょうぶの2作品は、どちらも使いこなす人が少ないプラ

チナ箔（はく）を利用した技法で古墳や縄文時代の三内丸山遺跡（青森市）を表現。自ら竹を削って先をとがらせたペン状の道具を30年近く使うなどして、細部の緻密な表現にも心を砕いてきた。今も毎日午前4時半には自宅の職場に入る。5月に開く個展に出品予定の「縄文層思」も縄文時代を想起させる力強い作品だ。東日本大震災後は祈りをテーマに、仏像をモチーフにすることも増えた。「漆は油絵と違い、塗った後に想像と違う色に変わり、しっとりした美しさがある。生き物のように変化する偶然の面白さが魅力」とその奥深さを言い表す。

自分らしい作品を追求する情熱は、駆け出しの頃から変わらない。「大いに冒険し、たくさん失敗が先生のようなもの、という思いは今後も持ち続けたい」

くつざわ・のりお 1941年湯沢市生まれ。湯沢高を卒業した後、秋田県工業試験場川連指導所で学ぶ。94年と98年に日展特選。2002年と14年に審査員を務め、現在は日展会員。現代工芸美術家協会理事、同東北会会長。河北工芸展顧問。湯沢市在住。

## 全日本合唱コンクールで4年連続の混声・女声2冠

### 郡山市立郡山第五中学校合唱団

(推挙者 郡山市長 品川 萬里)

2016年10月に高松市で開かれた全日本合唱コンクール全国大会に郡山五中合唱団として出場し、混声、女声の両部門で最高賞の文部科学大臣賞を獲得した。2部門そろっての日本一は13年から4年連続。約70年の歴史があるコンクールでも前例がなく、「合唱王

国・福島」の名をさらに高める快挙となった。



練習に励む郡山五中のメンバー

「プレッシャーはありましたが、練習でやってきたことを出し切れました」。当時の部長だった菅野詩織さん(3年)は大会を振り返る。全日本合唱連盟副理事長も務める菅野正美福島県合唱連盟理事長は「中学レベルを超えた、群を抜く質の高さだ」とたたえる。小針智意子教諭が10年から顧問を務める。前任地の郡山二中時代に混声の部で5年連続で日本一を成し遂げた実績がある。

混声一本に絞ることも考えたが、女声の継続を訴えた生徒たちの思いに応え、指導を続けてきた。

部員たちは放課後の2〜3時間に加え、始業前や昼休みも練習。長期の休みも練習漬けの日々を送る。小針教諭は「中学生だからこの程度でいいと、限界を引かないよう心掛けている。大人が想像する以上に子どもは豊かな力を発揮する」と話す。

2部門を指導する負担を減らそうと、学校側も顧問を複数配置にするなどバックアップしている。

「日本一はゴールではなくスタート」と小針教諭。「みんなでつくりあげる喜びや達成感など、合唱で得たことを人生のステップに生かしてほしい」と願う。

郡山五中 1947年に桃見台中として開校し52年、現校名に改称した。部活動の合唱部員は運動部と掛け持ちする男子5人を含めて男子16人、女子36人の計52人。阿部博校長。生徒609人。学校所在地は郡山市桜木。

## リオデジヤネイロ五輪バドミントン女子ダブルスで金メダル

日本ユニシス 高橋 礼華さん(26)

日本ユニシス 松友 美佐紀さん(24)

推挙者 宮城 聖ウルスラ学院英智小中高校長 伊藤 井嘉浩  
宮城県バドミントン協会会長 鈴木 宣子  
宮城 知事 村 勇治

世界ランキング1位の重圧を感じることなく、自然体を貫いて日本バドミントン界初の快挙をもたらした。崖っぷちに追い込まれた五輪決勝、第3ゲームの16-19から優勝を決めた奇跡の5連続ポイント。五輪史に残る逆転劇だった。

金メダルペアは共に宮城・聖ウルスラ学院英智高に在籍した2007年秋、誕生した。2人の強みは「世界一のコンビネーション」。後衛から強打を連発する高橋さんと、前衛で素早く駆け回る



女子ダブルスで金メダルを獲得し、歓声に応える高橋(左)、松友両選手=2016年8月18日

松友さん。決勝で顔を合わせたデンマークペアに体格で劣ったが、息の合った連係で封じた。表彰台の真ん中に立った2人は「仙台で過ごした時間がなければ今はない。多くの方に育ててもらい、感謝の気持ちでいっぱい」と9年間の積み重ねをしみじみと語る。

2012年のロンドン大会に出場できず「リオで金」を合言葉に4年間励まし合った。14年、仁川アジア大会で銀メダルを獲得すると、年間上位者で争うスーパーシリーズ・ファイナルでは、全種目を通じて日本人初優勝を飾る。

ぐんぐん実力を付けていった2人は「自分たちのプレーを出さないと損。楽しみたい」と世界ナンバーワンの地位にこだわらず、積極的な姿勢で臨み最高の結果を生んだ。

今後は追われる立場になるのを自覚しつつも「もっと強くなりたい、成長したい」。3年後の東京五輪での連覇への挑戦も始まったばかり。「お世話になった人いい報告ができるように頑張る」と宣言した。

たかはし・あやか 1990年奈良県生まれ。宮城・聖ウルスラ学院英智高出。同中学にも在籍した。165センチ、60キロ。

まつとも・みさき 1992年徳島県生まれ。高橋と聖ウルスラ学院英智高時代からのペア。松友が1学年後輩。159センチ、50キロ。

# リオデジャネイロ五輪レスリング男子グレコローマン59キロ級で銀メダル

ALSO 太田 忍さん(23)

(推挙者 青森県五戸町長 三浦正名)

リオの表彰台の隣で、少し手を伸ばせば届く金メダルをうらやましそうに見た。「やっぱり格好いいな」。自身の胸元には銀メダル。どこかかすんで見えた。

決勝戦で敗れた瞬間、右手を思い切りマットにたたきつけた。「世界で2番目の練習しかできなかった。申し訳ない」。歓喜に沸く会場で、しばらく顔を上げられなかった。

ポイントを奪われるのを恐れずに果敢に攻めた若武者は表彰式を終え、冷静に淡々と試合を振り返った。「何が悪いのか。守備が足りなかった。課題が明確になり、すっきりした」

前人未到の4連覇を成し遂げた伊調馨さん(八戸市出身)を筆頭に世界最強の地位を築く女子の陰に隠れがちだった日本男子。1952年から続くメダル



リオデジャネイロ五輪レスリング男子グレコローマン59キロ級決勝で敗れ、マットをたたいて悔しが  
る太田選手=2016年8月14日

獲得を、同じく銀メダルだった樋口黎さん(日体大)と共に守った。グレコローマンで頂点に立ったのは84年ロサンゼルス大会の宮原厚次さんが最後。32年ぶりの快挙はならなかったが、ロンドン五輪覇者を破るなど、初出場での快進撃は強烈な印象を残した。競技を始めた八戸キッズ(八戸市)の先輩には、ロンドン五輪金メダルの小原日登美さんがいる。「同じメダリストといっても金と銀。まだまだ遠い存在」。目標はもっと先にある。

五輪後は故郷の青森県五戸町に帰省し、練習の合間を縫って母校や所属企業の報告会に顔を出した。そうした場では、26歳で迎える東京五輪に向けた決意表明を欠かさない。「必ず金メダルを取る」

おおた・しのぶ 1993年、青森県五戸町生まれ。山口・柳井学園高一日本体大出。2014年アジア選手権2位。

15年の全日本選手権で初優勝。五輪では、ロンドン大会55キロ級金メダリストや15年の世界選手権2位らを破る活躍をした。165センチ。

## 高校バスケット全国選抜優勝大会3年連続優勝

### 明成高等学校男子バスケットボール部

(推挙者 宮城県高等学校体育連盟会長・利府高等学校校長 大沼博之)

2015年12月、バスケットボールの全国高校選抜優勝大会男子で、明成高(宮城)は宮城勢として初の3連覇を達成した。

男子の3連覇は通算4度果たしている能代工高(秋田)、洛南高(京都)に続き、史上3校目の快挙となった。

エースの八村塁選手(18) 現米ゴンザガ大IIを中心に、優勝候補筆頭の重圧をはねのけての頂点。決勝の土浦日大高(茨城)戦では、54-57の第4クォーターに納見悠仁主将(19) 現青学大IIの連続得点で逆転した。八村選手も34得点、19リバウンドの活躍を見せた。

両選手ら才能豊かな教え子の能力を引き出したのは佐藤久夫コー



全国高校選抜バスケットボール男子で3連覇を果たし喜ぶ明成の選手たち=2015年12月29日

チ(67)の  
手腕による  
ところが大  
きい。  
佐藤コー  
チは仙台高  
監督だった  
1999年

度、2000年度の同大会を制覇。日本協会強化本部専任コーチを経て、明成高を創部の05年から率いる。09年度に同大会で初優勝し、全国区の強豪に育て上げた。

3連覇は技術や体力で勝った結果ではないという。佐藤コーチは「苦しい時に我慢する忍耐力と、ここぞという場面で集中して持てるものを出し切る破壊力があつた」と、栄冠への道のりを振り返る。練習時間は1日2時間半と、他の強豪校に比べて長くはない。短い練習時間を効果的に使うことで集中力を養っている。「理想は頭の回転を速くしての知的で賢いバスケットボール。さらに情熱を注ぎ込めば、体力差は縮められる」。勝利を追求し続ける姿勢は変わらない。

明成高男子バスケットボール部 創部5年目の2009年度の全国高校選抜優勝大会男子で初優勝し、13-15年度に3連覇。全国高校総体は15年に初制覇した。OBにはバスケットボール男子B1仙台の佐藤文哉、石川海斗両選手らがいる。学校所在地は仙台市青葉区川平。



# 省エネに資する超低損失ナノ結晶軟磁性材料の発明とその工業化による東北の復興・新生への貢献

東北大学リサーチプロフェッサー・金属材料研究所教授

牧 野 彰 宏さん(65)

(推挙者 東北大学総長 里 見 進)

モーターやトランスの省電力化を実現するナノ結晶軟磁性合金「NANOMET (ナノメット)」を開発した。成果は東日本大震災からの復興を目指す国のプロジェクトに選ばれて2015年、大学のベンチャー企業を設立した。

市場の大半を占めるケイ素鋼に比べ、ナノメットは電力ロスを2分の1〜10分の1に削減できる。しかも原材料は鉄、リンなどで、安価に調達できる。

ベンチャー企業に参画した大手メーカーは18年、ナノメットを組み込んだ省エネ家電を発売する予定。実用化まで秒読みの段階だ。

「震災後のわが国にとってエネルギー問題は大きな課題。仙台で



新磁性材料を活用した東北復興策を語る牧野さん

最先端材料を作り、省エネルギーに貢献したい」と力を込める。  
東北大金属材料研究所  
(金研)で、

アモルファス(非晶質)金属研究の第一人者、増本健名誉教授に師事。民間企業で始めた磁性材料の開発を、今日まで一貫して追求してきた。

自身を童話「ウサギとカメ」のカメに例え「泥臭く人よりたくさん実験し、考えてきた。この反骨精神こそ研究の原動力」と語る。金研創設者で東北大総長だった本多光太郎が提唱した「研究第一主義」「実学尊重」の実践だ。

15年には、隕石(いんせき)にわずかに含まれる永久磁石を世界で初めて人工的に作製することにも成功した。今後はこの研究にも力を注いでいく。「数十億年かけてできた磁石を実験室で再現できた。だから材料は面白い」と目を輝かせる。

まきの・あきひろ 1951年前橋市生まれ。東北大学院工学研究科修了。専門は磁性材料。アルプス電気、秋田県立大を経て、2005年東北大金属材料研究所付属金属ガラス総合研究センター(現新素材共同開発センター)教授。12〜15年センター長。



## 河北文化賞規定

- 第1条 河北文化賞は東北地方の文化の向上、産業の興隆等について貢献顕著な個人もしくは団体に贈る
- 第2条 河北文化賞は学術、芸術、体育、産業、社会活動の5部門とする
- 第3条 河北文化賞の審査年度は前年11月3日に始まり当年11月2日に終わるものとする。ただし緊急性のあるものはこの限りではない
- 第4条 河北文化賞の審査は公益財団法人河北文化事業団理事長の指名する委員会において決定する
- 第5条 河北文化賞は毎年1月1日の河北新報にその前年度分を発表し1月17日に贈呈式を行う
- 第6条 河北文化賞は本賞を賞牌とし、副賞として別途定める賞金を添えて贈呈する
- 第7条 同一業績に対し他の著名賞を受けたもの及び河北文化賞を一度受けたものは原則として除く

### 河北文化賞

(賞牌)

表紙の写真は故東京芸術大学教授菊地一雄氏の制作による「河北文化賞(賞牌)」で、発展途上にある東北の産業文化にふさわしく、広く文化を象徴する女性に東北の大自然を象徴する山、東北の発展を象徴する産物を配し、希望と野心に満ちた意匠を織り込んである。

記念講演

第66回講演

「東北新時代

～観光推進による東北の未来～」



清野 智氏

東日本旅客鉄道株式会社  
取締役会長  
東北観光推進機構会長

1947年生まれ。仙台市出身。

東北大学法学部卒業。70年日本国有鉄道に入社。85年同社仙台鉄道管理局総務部長。87年東日本旅客鉄道株式会社に入社。東北地域本社総務部長、本社総務部担当部長、財務部長、人事部長、常務取締役、代表取締役副社長を経て2006年より代表取締役社長、12年より取締役会長。現在、東北電力株式会社取締役、日本郵政株式会社社外取締役、東京商工会議所副会頭などを務めている。

15年、東北観光推進機構の会長に就任し、国内外からの観光流動拡大による東北エリアの活性化に尽力している。

第1回	東北大学法学部長 中川善之助
第2回	東北大学名誉教授 熊谷 岱蔵
第3回	「文化について」 東北大学学長 高橋 里美
第4回	「古代の東北文化」 文学博士 山田 孝雄
第5回	「科学者の夢」 東北大学電気 通信研究所長 渡辺 寧
第6回	「天才と寿命」 東北大学名誉教授 宮城音五郎
第7回	「考古学上から見た古代の東北開発」 東北大学教授 伊東 信雄
第8回	「芳香族の化学について」 東北大学教授 野副 鉄男
第9回	「ストレス学説について」 東北大学学長 黒川 利雄
第10回	「栄養と体力並びに寿命」 東北大学農学部学長 有山 恒
第11回	「脳と文化」 東北大学医学部長 本川 弘一
第12回	「安楽死の問題」 東北大学名誉教授 木村 亀二
第13回	「不安と治療および救い」 東北大学学長 石津 照壘
第14回	「科学の進歩と疾病の 変貌」 東北大学名誉教授 海老名敏明
第15回	「宇宙開発の現状」 東北大学教授 加藤 愛雄
第16回	「明治維新と仙台」 宮城県民会館館長 佐々 久
第17回	「戊辰の役考」 作家 大池 唯雄
第18回	「自然保護と観光開発」 東北大学教授 加藤陸奥雄
第19回	「史実からみた伊達騒動」 宮城県文化財専門委員 三原 良吉
第20回	「倫理観の今昔」 東北大学名誉教授 吉田 賢抗
第21回	「政宗と常長」 東北大学教授 高橋 富雄
第22回	「宝石あれこれ」 東北大学教授 砂川 一郎
第23回	「エネルギーの現状と 将来」 東北電力株式会社 常務取締役 中川理一郎
第24回	「都市開発と文化」 東北大学教授 佐々木嘉彦
第25回	「考えて作る楽しみ」 東北大学教授 酒井 高男
第26回	「近世の北方問題と 林子平」 文学博士 平 重道
第27回	「道」 瑞巖寺住職 加藤 隆芳
第28回	「地震と地盤」 東北大学名誉教授 奥津 春生
第29回	「星の一生」 仙台市天文台台長 小坂由須人
第30回	「脳卒中の話」 東北大学教授 鈴木 二郎
第31回	「半導体と未来社会」 東北大学教授 西澤 潤一
第32回	「ガンの免疫療法」 東北大学教授 石田名香雄
第33回	「食物成分の不可思議」 東北大学教授 木村 修一
第34回	「セラミック エージ の夜明け」 東北大学名誉教授 梅屋 薫
第35回	「東北日本の地震活動・ 地殻変動の特性」 東北大学教授 高木 章雄

<p>第36回 「キリスト教文化と日本文化」 東北学院大学宗教学部長 小笠原政敏 「文学にみる女性像」 宮城学院学院長 早坂 禮吾</p> <p>第37回 「戊辰の役と庄内藩」 致道博物館名誉館長 酒井 忠明</p> <p>第38回 「富沢遺跡などに見る東北の古代」 東北福祉大学教授 芹澤 長介</p> <p>第39回 「人工知能は人間の頭脳にどこまで迫れるか」 東北大学工学部教授 木村 正行</p> <p>第40回 「21世紀の新素材」 東北大学教授 増本 健</p> <p>第41回 「東北の国際化を担う空港整備」 運輸省仙台空港長 増子 久弥</p> <p>第42回 「遣欧使節 支倉常長の実相」 東北大学文学部長 渡辺 信夫</p> <p>第43回 「奥州平泉文化の特質」 中尊寺貫主 千田 孝信</p> <p>第44回 「三内丸山遺跡に見る東北の縄文文化」 弘前大学教授 村越 潔</p>	<p>第45回 「思い出の土俵生活」 第二十八代立行司 後藤 悟</p> <p>第46回 「東北の百年」 東北大学名誉教授 高橋 富雄</p> <p>第47回 「国際海洋年と地球温暖化」 東北大学教授 田中 正之</p> <p>第48回 「東北人のこころ」 日銀副総裁 藤原 作弥</p> <p>第49回 「多賀城から鎌倉へ」 東北歴史博物館長 岡田 茂弘</p> <p>第50回 「21世紀の学都仙台」 東北大学総長 阿部 博之</p> <p>第51回 「自然界の不思議―右の世界、左の世界」 東京大学教授 黒田 玲子</p> <p>第52回 「蝦夷から学ぶリーダー像」 作家 三好 京三</p> <p>第53回 「宮城原沖地震は 本当に来るのか」 東北大学大学院教授 長谷川 昭</p> <p>第54回 「近未来社会とロボット」 情報科学研究科教授 中野 栄二</p> <p>第55回 「衝撃波の出来ない超音速旅客機を目指して」 防衛庁技術研究本部 第三研究主任 楠瀬 一洋 前東北大学C/O研究プロフェッサー 招聘客員教授</p>	<p>第56回 「松島瑞嚴寺と伊達政宗―造営400年を前に―」 文化史家・濱田 直嗣 前仙台市博物館館長</p> <p>第57回 「アクアマリンとシーラカンス最前線」 アクアマリンふくしま館長 安部 義孝</p> <p>第58回 「東北弁とシェイクスピア」 東北学院大学教授 演出家 下館 和巳</p> <p>第59回 「発酵王国・東北の食文化」 東京農業大学 名誉教授 農学博士 小泉 武夫</p> <p>第60回 「脳を鍛える」 東北大学 加齢医学研究所 教授 川島 隆太</p> <p>第61回 「平泉の世界遺産登録の意義―東北の復興に向けて」 東北芸術工科大学 歴史遺産学専攻教授 入間田宣夫</p> <p>第62回 「歴史学と災害科学をつなぐ」 東北大学災害科学 国際研究所長・教授 平川 新</p> <p>第63回 「Respect Each Other」 株式会社楽天野球団 代表取締役社長 立花 陽三</p> <p>第64回 「三陸鉄道 復旧・復興の取り組み」 三陸鉄道株式会社 代表取締役社長 望月 正彦</p>	<p>第65回 「新しい地震予測に挑む」 東京大学名誉教授・株式会社地震科学探査機構顧問 村井 俊治</p>
---	--	---	--

# 河北文化賞受賞者

Ⅱ 年度順 Ⅱ

<p>第1回受賞者 (昭和26年度)</p> <p>音楽教育と作曲 仙台高校教諭 海鋒 義美</p> <p>東北民家建築の研究と指導 東北大学 工学部教授 小倉 強</p> <p>超短波の研究とその実用化 東北大学 工学部教授 宇田新太郎</p> <p>水田裏作の協同化とその普及 大河原裏作 農協副組合長 太田麻之助</p> <p>中、高等学校漕艇界における稀有の優位と不断の精進 南光学園 東北高校漕艇部</p>	<p>第2回受賞者 (昭和27年度)</p> <p>「国民体力と食」並びに「学童教育」に関する研究と指導 東北大学 医学部教授 近藤 正二</p> <p>ジャガイモの育種研究と品種改良の実績 東北農芸試験場 栽培第二部長 田口 啓彦</p> <p>世界選手権を獲得、卓球界の復興に寄与 青森市在住 佐藤 博治</p> <p>津波及び津波予報の実際的研究 仙台管区氣象台 (並びに元台長故森田稔氏)</p> <p>只見川電源開発の基礎調査を元遂 只見川調査所関係所員</p>	<p>第3回受賞者 (昭和28年度)</p> <p>極超短波時分割多重通信の研究とその実用化 東北大学 工学部教授 永井 健三</p> <p>わが国最高水準にある本荘高校漕艇部に対する不屈不撓の指導 秋田県本荘 高校教諭 作左部 忠</p> <p>東北柔道界発展に対する寄与 柔道8段範士 高橋喜三郎</p> <p>東北の稲作冷害の研究と耐冷性品種の育成 青森県農事 試験場長 田中 稔</p> <p>製鉄用大型傘歯車の修理並びにその国産化 富士製鉄釜石製鉄所工務部 並びに東北大学工学部成瀬研究室</p>	<p>第4回受賞者 (昭和29年度)</p> <p>野兔病に関し親子2代にわたる研究 大原綜合病院長 大原嘗一郎</p> <p>東北の民謡の研究とその採譜 民謡研究者・作曲家 武田忠一郎</p> <p>東北体操界の発展に寄与 秋田県体操協会長 太田口政治</p> <p>公衆衛生事業に顕著な業績をあげ学術的社会的に貢献 宮城県角田保健所長 小島 武雄</p> <p>日本海北部沿岸地方における砂防造林法の体系化とその業績 前酒田営林署長 富樫兼治郎</p>
--	--	---	--

第5回受賞者

(昭和30年度)

「拡声器」「室内音響」「騒音防止」に関する研究と指導

東北大学工学部教授 二村 忠元

日本語の実験音響学的研究とその成果

東北大学名誉教授 土居 光知

多年にわたり俳句を指導し  
地方俳壇に寄与

俳 人 阿部みどり女

リンゴの栽培を改良指導し  
東北果樹産業界に寄与

青森県りんご協会理事 渋川伝次郎

山間辺地に「独立学園」を創立  
名利を離れて青年の育成に奉仕

キリスト教独立  
高等学園校長 鈴木 彌美

第6回受賞者

(昭和31年度)

東北地方の古代文化に関する  
考古学的研究

東北大学教授 伊東 信雄

「日本化学総覧」を編集発行し  
科学産業に寄与

財団法人 日本化学研究会

東北重量業界の発展に対する寄与

福島県重量協会会長  
医師 額賀 誠

広葉樹人絹バルブの工業化に  
より、東北の未利用資源活用  
の道をひらく

東北バルブ  
取締役副社長 片山 知又

育児院の模範的経営と社会福祉  
事業に貢献

仙台キリスト教  
育児院長 大坂 鷹司

婦人の地位向上と社会改善に寄与

山形県婦人連盟

60余年にわたり東北の農事  
改良指導に尽力

国分農生主 国分 謙吉

第7回受賞者

(昭和32年度)

鉄鋼資源の国内自給度を高め  
東北鉱山業界の発展に寄与

日鉄鉱業若鉱業所長 今井 史郎

東北ラグビー界の発展に寄与

秋田ラグビー協会顧問 鎌田 徳治

超音波応用の研究、とくに  
魚群探知機の成功と実用化

東北大学教授 菊池 喜允

水稲優良品種「サシグレ」を  
育成普及し食糧増産に寄与

宮城県立農業試験場古川分場

永年気温、水温、流量の監察を  
記録し、冷地地農業対策に寄与

長井市在住 渋谷 洪衛

第8回受賞者

(昭和33年度)

辺地教育に新しい指針を与え  
地域産業の振興に貢献

西川町立大井沢自然博物館

東北農山漁村生活の調査研究と  
「東北研究書庫」建設による業績

会津農林専門学校教諭 山口弥一郎

多年にわたり南部杜氏を育成し  
東北酒造界の発展に寄与

南部杜氏協会会長 藤村 徳三

東北地方のクル病予防と母子衛生  
生育児知識の普及指導に献身

東北大学教授医学博士 佐野 保

「平頭モリ先」を發明・製作し  
日本捕鯨業の躍進に寄与

東京大学教授理学博士 平田 森三  
株式会社石巻製作所  
専務取締役 仁科 利英

第9回受賞者

(昭和34年度)

カキ種苗の人工飼育とその産業への応用

東北大学教授  
理学博士 今井 丈夫

古印・金石字並びに郷土史料の保存刊行

盛岡市編集委員 太田孝太郎

民謡の価値を高く評価し、その復活、伝承、普及に尽くす

民謡普及  
桃水会長 後藤 桃水

竿灯の伝統を生かし、妙技を發揮して観光東北の名を高む

秋田市竿灯会

永年歌道に精進、歌壇の隆盛に寄与

歌人 結城哀草果

第10回受賞者

(昭和35年度)

農業経営の具体的指導と農的人材の育成に尽くす

宮城県立農学寮 酒井 馨

わが国初の海底油田を發掘、東北鉱業界に新風を呼ぶ

石油資源開発株式会社  
秋 田 鉱 業 所

社会の法知識普及啓発と無料法律相談所など社会福祉事業に貢献

東北大学教授 中川善之助

郷土史の研究とその指導普及に尽くす

郷土家 三原 良吉

画期的な電気通信機器を製作し、通信事業界並びに東北の産業界に貢献

谷村株式会社新興製作所

第11回受賞者

(昭和36年度)

由緒ある所蔵品を開放し地方の文化向上と社会教育振興に貢献

本 間 美 術 館

ガラス長繊維についての新技術を確立し、繊維工業の伸長に貢献

日東紡績株式会社前福島工場長  
兼 磯 織 研 究 所 長 富田 兼康

害虫学の体系を確立し実地指導により蚊・ハエ撲滅など環境衛生に尽力

東北大学教授 加藤陸奥雄

独特の版画芸術により素朴な郷土風俗を内外に紹介

創作版画家 勝平 得之

粘土礦物によるジークライト工業を成功させ東北の地下資源開発に寄与

ジークライト化学  
工業株式会社社長 吉岡寛太郎

卓越した探鉱技術により大鉱床を発見し東北地方の鉱業振興に寄与

同和鉱業株式会社 小坂鉱業所

全国的な名剣道大会で優秀な成績をあげ東北地方の体育を振興

宮城県小牛田農林高校剣道部  
名子制度の研究など東北地方の社会経済史を確立  
岩 山 大 学 教 授 森 嘉 兵 衛

第12回受賞者

(昭和37年度)

金属分析化学の研究と指導にあたり東北金属工業界に寄与

東北大学教授 後藤 秀弘

テレビジョン共同受信の研究など東北の通信文化の向上に尽力

東北大学教授 佐藤利三郎

東北地方の産業経済史関係古文書史料を發掘、日本経済史学界に貢献

福島大学助教授 庄司吉之助

河北美術展及び日本美術院展を通じ東北画壇の興隆に尽くす

日本画家 莊 司 福

古代正藍冷染法の継承とその保存に献身

染色工芸家 千葉あやの  
重要無形文化財

柔道世界選手権、全日本選手権を獲得、東北柔道界の向上に貢献

秋田県警部補 夏井 昇吉  
柔道7段



第13回受賞者

(昭和38年度)

フエンスンク全国大会に優勝し  
東北女子体育界に寄与  
宮城県が浦高等学校生徒会  
体育部フエンスンク班  
モニア病防除体系を確立し  
リンゴ産業界に貢献  
青森県りんご試験場長 木村 甚彌  
平家琵琶を伝承してその保存に  
貢献  
平家琵琶研究者 館山 甲午  
本宮方式映画教室運動の実践に  
より地域文化向上に寄与  
福島県本宮町立 本宮小学校  
結晶方位の光学的決定法の完成  
と結晶定法位切断法の開発  
東北大学金属材  
料研究所教授 山本美喜雄  
助教授 渡辺 慈朗  
講師 佐々木栄一  
仙台工機株  
式会社社長 伊藤 定雄

第14回受賞者

(昭和39年度)

秋田県農村の医療保健問題を  
調査研究しその解決に尽力  
秋田県農村医学会  
サンマの漁況予測方法を確立し  
東北水産業界に貢献  
東北区水産研究所  
資源第一研究室長 堀田 秀之  
美術評論家として郷土の民俗芸能  
を発掘し地方文化の育成に寄与  
美術評論家 森口 多里  
仙台白菜など新品種の育成普及  
に貢献  
渡辺採種場社長 渡辺 頼二  
体操選手として長く活躍、東京  
オリンピックの団体優勝に寄与  
東洋レーヨン 小野 喬

第15回受賞者

(昭和40年度)

体操選手として活躍、東京オ  
リンピックで個人総合優勝  
日本大学講師 遠藤 幸雄  
重量挙げで次々に世界記録を更  
新、東京オリンピックで優勝  
自衛隊体育学校 三宅 義信  
三宅 陸尉  
東京オリンピックのマラソン、  
1万m競走に入賞、東北人の精  
神力を発揮  
自衛隊体育学校 円谷 幸吉  
三等 陸曹  
全日本柔道選手権に3度優勝、  
東京オリンピックでも銀メダル  
を獲得  
富士製鉄 神永 昭夫  
重量挙げ選手として活躍、東京  
オリンピックで銅メダルを獲得  
法政大学生 一ノ関史郎  
重量挙げ選手として活躍、東京  
オリンピックで銅メダルを獲得  
法政大学生 大内 仁  
民俗学を研究し東北の民間信仰  
史料を集大成  
福島県立相馬女子  
高等学校教頭 岩崎 敏夫  
地層の研究により油田など鉱産  
資源の開発探査に貢献  
秋田大学 藤岡 一男  
鉱山学部教授  
酸性河水による工作物腐食を究  
明し産学協同でその対策を確立  
東北大学金属  
材料研究所教授 下平 三郎  
東北電力株式会社  
常務取締役 若林 疆  
東北剣道界の普及振興に献身  
東北剣道連盟顧問 乳井 義雄  
剣道 8 段  
行政事務の合理化を實踐し「米  
沢方式」として全国に範を示す  
米沢市長 吉池慶太郎

<p>地下工学を体系づけ、温泉開発に応用</p> <p>弘前大学教育学部教授 酒井軍治郎</p> <p>新農業を発明し、水銀毒の排除に成功</p> <p>東北共同化学工業株式会社 副社長 百足 泰守</p> <p>集団検診によるガン征圧体制の確立に尽力</p> <p>宮城県対がん協会</p> <p>多年レスリング界を指導、育成</p> <p>日本アマチュア・レスリング協会 参事 笹原 正三</p> <p>女子バドミントンで初の世界制覇</p> <p>帝国石油株式会社 秋田鉱業所 横山 満子</p>	<p>緯度観測所の発展および東北の農業気象観測に貢献</p> <p>水沢市名誉市民 池田 徹郎</p> <p>石川啄木を調査研究して広く世に紹介</p> <p>岩手芸術協会 会長 吉田 孤羊</p> <p>東北地方に根ざした作曲および合唱音楽に寄与</p> <p>宮城教育大学 教授 福井 文彦</p> <p>考古学資料を発掘、保存し地方文化に寄与</p> <p>毛利考古館 館長 毛利総七郎</p> <p>身体不自由児療育の研究実践に尽力</p> <p>宮城県更生育成医療整形外科 指定 医 協 議 会</p>	<p>八郎湯の干拓と社会変動を究明し、学会に寄与</p> <p>秋田大学八郎湯研究委員会</p> <p>深層地下構造を研究し、東北開発に貢献</p> <p>東北大学教養部教授 奥津 春生</p> <p>地域の音楽水準を高揚し、全日本合唱コンクール一般の部で優勝</p> <p>FMC混声合唱団</p> <p>東北ラグビー界に貢献し、国体で2年連続優勝</p> <p>富士製鉄釜石製鉄所ラグビー部</p> <p>重量挙げ選手としてメキシコオリンピックで第3位</p> <p>三宅 義行</p>	<p>集団検診方法の体系化による子宮がん防止に寄与</p> <p>東北大学医学部教授 九嶋 勝司 同 講師 野田起一郎</p> <p>北上川洪水予報体系の確立とダム群統合管理の実践</p> <p>東北地方建設局岩手工事事務所</p> <p>全国高校ラグビー大会で13回優勝</p> <p>秋田県立秋田工業高等学校 ラグビー部</p> <p>世界女子バドミントン選手権大会で連続優勝に貢献</p> <p>バドミントン選手 高橋とも子</p> <p>生涯を社会福祉事業に捧げ施設を経営した功績</p> <p>弘前愛成園理事長 佐々木寅治郎</p>
<p><b>第16回受賞者</b></p> <p>(昭和41年度)</p>			
<p><b>第17回受賞者</b></p> <p>(昭和42年度)</p>			
<p><b>第18回受賞者</b></p> <p>(昭和43年度)</p>			
<p><b>第19回受賞者</b></p> <p>(昭和44年度)</p>			

第20回受賞者

(昭和45年度)

鉱物資源、とくに黒鉱・砂鉄などの処理技術の開発

東北大学選鉱製錬研究所教授 和田 正美

菅江真澄の業績を中心とする東北庶民文化の研究

民俗学者 内田 武志

わが国初の松川地熱発電の開発

日本重化学工業松川地熱発電所代表 富岡 重憲

全国学校音楽合唱部門に優勝5回の偉業

仙台市立五橋中学校

世界卓球選手権大会で優勝

中京大学助手 小和田敏子

多年にわたる郷土の観光産業開発に献身

宮城県河南町旭山観光協会会長 斎藤壯次郎

第21回受賞者

(昭和46年度)

東北の無形文化財の研究とその保存に寄与

早稲田大学教授 本田 安次

郷土の民俗資料を収集しその保存に貢献

致道博物館

黒川能の伝統継承に尽力

黒川 能 座

画道60年郷土画壇の発展に寄与

画家 菅野 廉

採苗・養殖技術の開発によりホタテ貝の栽培漁業を確立

青森県水産増殖センター

東北の自転車競技発展向上に尽力

宮城県アマチュア自転車競技連盟理事長 猪股 一二

第22回受賞者

(昭和47年度)

温泉医学の基本的研究と臨床的技術の開発

東北大学教授 杉山 尚

和算研究の資料発見、保存に貢献

理学博士 平山 諦

胃集団検診用間接狙撃撮影装置を完成した功績

西山胃腸科院長 西山 正治

黒森歌舞伎の伝統継承に尽力

黒森 歌舞伎

救急医療体制の確立とその積極的活動

仙台市立病院

レスリング選手としてミュンヘン・オリンピックで金メダルを獲得

レスリング選手 柳田 英明

ミュンヘン・オリンピックで男子バレーボール金メダル獲得に貢献

バレーボール選手 佐藤 哲夫

ミュンヘン・オリンピックで女子バレーボール銀メダル獲得に貢献

バレーボール選手 鳥影せい子

第23回受賞者

(昭和48年度)

アイバンク設立の基礎を築き世界的水準の角膜移植術を確立

岩手医科大学教授 今泉 亀撤

東北海区の魚類生態系を究明し栽培漁業を開発

東北大学農学部教授 畑中 正吉

全国学校音楽コンクールで連続5回の優勝

山形県立山形西高等学校合唱団

全日本剣道選手権大会で3度天皇杯を獲得

剣道7段 千葉 仁

十和田科学博物館の設立など広域観光開発と地方文化の向上に尽力

十和田開発株式会社社長 杉本 行雄

第24回受賞者

(昭和49年度)

肺ガンの早期発見と外科的療法  
の体系化

東北大学名誉教授 鈴木十賀志

延年の舞の伝統を継承

毛 越 寺

東北の歴史的な重要建造物修復に  
貢献

文化財建造物保存  
技術協会修理技師 藤島清太郎

リンゴ優良品種「ふじ」の育成

農林省果樹試験場盛岡支場  
リンゴふじ育成グループ

地域の社会福祉事業に献身

社会福祉法人  
藤澤学園理事長 渡辺 セツ

第25回受賞者

(昭和50年度)

キノコ類の成分解明など薬用  
植物学の開拓

東北大学薬学部部長 竹本 常松

多年洋画家として活躍、郷土  
美術界に寄与

洋画家 橋本八百一

白石紙の古漉法を継承

白石和紙工房 遠藤 忠雄

生産と生活の調和を図る地域  
農業計画の実践

岩手県住田町  
農業総合指導協議会

水稲良品品種「トヨニシキ」  
「キヨニシキ」の育成

農林省東北農業試験場  
栽培第一部署育成グループ

第26回受賞者

(昭和51年度)

東北の植物群集の研究と自然  
保護に貢献

東北学院大学教授 吉岡 邦二

日本画家として郷土画壇に寄与  
永年にわたり書道界の発展に尽力

書家 有井 凌雲  
医 師 澤井 七郎

半生を辺地の診療に献身  
高校バスケットボールで2年  
連続三冠王

秋田県立能代工業高等学校  
バスケットボールチーム

モントリオール・オリンピック女子  
バレーボールで金メダルを獲得

バレーボール選手 荒木田裕子

モントリオール・オリンピック  
柔道で銅メダルを獲得

柔道選手 遠藤 純男

モントリオール・オリンピック  
レスリングで銅メダルを獲得

レスリング選手 菅原弥二郎

モントリオール・オリンピック  
レスリングで銅メダルを獲得

レスリング選手 工藤 章

第27回受賞者

(昭和52年度)

新非強磁性インバー合金を開発

東北大学名誉教授 斎藤 英夫

東北の地域開発と農業経済に  
貢献

東北大学名誉教授 木下 彰

仙台提焼の伝統を継承

陶芸家 針生 嘉孝

地方演劇の振興に尽力

演劇評論家 大山 功

世界卓球選手権大会で優勝

青森県教育委員会理事 河野 満

<p>実践的地理学の研究で地域開発に貢献</p> <p>東北学院大学教授 宮川 善造</p> <p>東北における仏教文化史の研究</p> <p>岩手県文化財保護委員会 司東 真雄</p> <p>東北の音楽文化向上に寄与</p> <p>山形交響楽団</p> <p>日本刀鍛錬技術の伝統を継承</p> <p>刀 匠 法華三郎信房</p> <p>全国高校スキー大会で初の3連覇</p> <p>東奥義塾高等学校スキー部</p>	<p>第28回受賞者</p> <p>(昭和53年度)</p>	<p>文化財保護と郷土史研究に尽力</p> <p>仙台美術館館長 佐々 久</p> <p>短歌の創作指導と研究にあげた功績</p> <p>東北福祉大学教授 扇畑 忠雄</p> <p>永年の創作活動で郷土画壇に寄与</p> <p>洋画家 渋谷榮太郎</p> <p>地域文化の向上と児童文化の振興に貢献</p> <p>児童文学者 須藤 克三</p> <p>こけし作り一筋に業界発展に尽くす</p> <p>こけし工人 佐藤 丑蔵</p> <p>志和型複合経営の確立で地域農業を振興</p> <p>岩手県志和農業協同組合</p>	<p>第29回受賞者</p> <p>(昭和54年度)</p>
<p>東北地方の鉱物学研究にあげた業績</p> <p>東北大学連鉱製錬研究所教授 南部 松夫</p> <p>雪と雪崩の研究に尽力</p> <p>和賀岳を愛する会 会長 高橋 喜平</p> <p>豪雪地帯の林業技術に関する研究</p> <p>山形大学農学部 北村昌美教授研究グループ</p> <p>俳句などの芸術文化活動で地方文化の向上に寄与</p> <p>宮城県芸術協会理事長 永野 孫柳</p> <p>全日本学生選手権競漕大会で3連覇達成</p> <p>東北大学漕艇部</p>	<p>第30回受賞者</p> <p>(昭和55年度)</p>	<p>脳卒中外科療法の開発と東北での撲滅運動の推進</p> <p>東北大学医学部教授 鈴木 二郎</p> <p>東北の古代史研究にあげた功績</p> <p>岩手大学名誉教授 板橋 源</p> <p>児童文化の育成と郷土史研究に貢献</p> <p>おてんとさんの会 会長 天江 富弥</p> <p>国体ホッケー少年女子の部で4連覇</p> <p>岩手県立沼宮内高等学校 女子ホッケー部</p> <p>ボランティア精神に徹した地域の福祉村活動</p> <p>上山市中川福祉村</p>	<p>第31回受賞者</p> <p>(昭和56年度)</p>

第32回受賞者

(昭和57年度)

自然災害の対策を研究し、東北開発の基盤整備に貢献

東北大学工学部教授 岩崎 敏夫

詩作を通じて東北文化の向上に寄与

詩人 真壁 仁

ラグビー日本選手権で4連勝

新日本製鉄釜石製鉄所  
ラグビー部

全国中学校軟式野球大会で優勝

秋田市立城東中学校野球部

出版事業を通じて郷土の文化向上に尽力

宝文堂社長 鈴木 武夫

第33回受賞者

(昭和58年度)

東北地方農山漁村の実態調査に挙げた功績

東北大学農藝教授 竹内 利美

重症肝疾患の病態解析と治療の推進

岩手医科大学教授 海藤 勇

洋画家として東北画壇の育成に尽力

洋画家 杉村 惇

全日本合唱コンクールで4年連続金賞

福島県立安積女子高等学校合唱団

独自の保健医療体制で、保健の村づくり

岩手県和賀郡沢内村  
村長 太田 祖電

第34回受賞者

(昭和59年度)

東北史の研究と普及に貢献

東北大学教授 高橋 富雄

日本海中部地震の学際研究と提言

弘前大学日本海中部地震研究会

染色工芸を通じて地域文化向上に寄与

仙台染織美術協会会長 宮地 房江

新しい町おこし活動とその成果

岩手県大迫町長 村田 柴太

国体自転車競技総合で5連覇

国体福島県自転車チーム

ロサンゼルス・オリンピック柔道(95キロ超級)で金メダル

国士館大学副手 斉藤 仁

ロサンゼルス・オリンピックレスリング(フリースタイル90キロ級)で銀メダル

早稲田大学助手 太田 章

ロサンゼルス・オリンピックレスリング(フリースタイル62キロ級)で銀メダル

日本大学生 赤石 光生

ロサンゼルス・オリンピック自転車(スプリント)で銅メダル

日本大学生 坂本 勉

ロサンゼルス・オリンピック女子バレーボールで銅メダル

日立製作所社員 利部 陽子

第35回受賞者

(昭和60年度)

旧石器文化を中心に考古学  
研究で挙げた功績

東北福祉大学教授 芹澤 長介

東北の精神性を表現する  
多彩な芸術活動

造形家 岩間 正男

世界柔道選手権大会78キ以下  
級で2回連続優勝

岩手県警本部  
巡査部長 日蔭 暢年

全国高校総体で4連勝、全国  
選抜高校で5連勝

光星学院高等学校レスリング部

半導体および光通信の研究・  
開発で産業界に貢献

東北大学電気通信研究所長  
①半導体研究所長 西澤 潤一

第36回受賞者

(昭和61年度)

糖尿病の病態解析と地域医療への貢献

東北大学医学部教授 後藤 由夫

形状記憶合金の基礎および応用研究における功績

東北大学産銀製錬研究所長 本間 敏夫

東北書道界の発展向上に寄与

書道芸術院名誉会長 加藤 翠柳

国体陸上競技100メートル少年の部で3年連続優勝

福島県立会津高等学校3年 五十嵐幸一

ギンザケ養殖の技術確立による複合型養殖業の推進

宮城県志津川町漁業協同組合

一世紀にわたるキリスト教主義教育で人材を育成、社会の発展に寄与

学校法人 東北学院

一世紀にわたるキリスト教主義教育で人間性豊かな女子の育成に寄与

学校法人 宮城学院

第37回受賞者

(昭和62年度)

民間研究者として農業史の研究に尽力

東北農芸技術史調査所長 加藤 治郎

乳がん集団検診体系の確立と推進

東北大学医学部教授 佐藤 寿雄

手づくりの舞台創作活動による地域づくり運動

遠野物語ファンタジー製作委員会

重要無形民俗文化財相馬野馬追の伝承に尽力

相馬野馬追保存会

水稲品種「ササニシキ」の育成と普及指導

元宮城県農業センター長 末永 喜三

第38回受賞者

(昭和63年度)

伊豆沼・内沼の自然環境保全に尽力

伊豆沼管理協議会

道路粉じん健康影響調査における功績

東北大学医学部教授 瀧島 任

東北の風土に根差した版画を国内外で発表

版画家 斎藤 清

全国音楽コンクール中学校の部で3年連続5回目の優勝

八戸市立根城中学校合唱部

新技術開発で東北の産業振興に貢献

東北電子産業社員 佐伯 昭雄

ソウル・オリンピックのレスリング(フリースタイル52kg級)で優勝

日本体育大学助手 佐藤 満

第39回受賞者

(平成元年度)

磁気記録の高密度化の研究における功績

東北工業大学学長 岩崎 俊一

古代東北史の研究、解明で上げた業績

秋田大学教授 新野 直吉

多年にわたり東北の俳壇隆盛に寄与

俳人 佐藤 鬼房

木工芸の里づくりによる山村の振興

宮城県津山町長 佐々木 一郎

心身障害児者の福祉向上に貢献

仙台市精神薄弱児者育成会理事長 安彦ひさ子

第40回受賞者

(平成2年度)

高度情報ネットワークの研究と  
推進に貢献

東北大学教授 野口 正一

胃癌死亡率の地域差と食生活要  
因の解明に功績

秋田大学教授 加美山茂利

桜枝岐歌舞伎の保存、伝承に  
おける功績

桜枝岐歌舞伎・千葉之家花駒座

東北柔道界の発展に寄与

東北柔道連盟会長 佐藤儀一郎

長年にわたる肢体不自由児の療  
育事業推進に寄与

宮城県肢体不自由児  
協会会長 高橋 孝文

第41回受賞者

(平成3年度)

アモルファス金属の研究と科学  
技術への貢献

東北大学教授 増本 健

彫刻芸術と地方文化の振興に  
寄与した功績

彫刻家 佐藤 忠良

大学野球日本一で東北スポー  
ツ界に希望を与えた功績

東北福祉大学硬式野球部

全国高等学校ボクシング競技に  
おいて3冠を達成

岩手県水沢農業高校3年 八重樫 剛

水稲良食味品種「あきたこまち」  
の育成

秋田県農業試験場

「あきたこまち」育成グループ

要保護児童の養護活動における貢献

社会福祉法人 最上 梅 檀 会

第42回受賞者

(平成4年度)

光エレクトロニクス新分野の  
研究開発における功績

東北大学名誉教授  
東北工業大学教授 稲場 文男

新生児未熟児の集中管理を中心  
とした周産期医療への貢献

仙台赤十字病院周産期センター  
新生児未熟児集中治療部門

登米能の伝承・保存を図り地域  
文化の向上、振興に貢献

登米 謡 曲 会

農業中毒の防止など健康な農家  
生活の確立に貢献

青森県農科医学会長 渡部 忍

民間ボランティアによる多年に  
わたる電話相談活動の功績

社会福祉法人 仙台いのちの電話

アルペールビル・オリンピック  
のフルデイック複合団体が優勝

リクルート・スキートーム 三ヶ田礼一

第43回受賞者

(平成5年度)

マグネティックスの新分野の研究  
開発と応用における功績

東北大学名誉教授  
八戸工業大学学長 村上 孝一

セントアイプロセス(強靱鑄鉄製  
造法)による東北産業界への貢献

東北大学名誉教授 本間 正雄

慶長遣欧使節船「サン・ファン・パウ  
テイスタ号」の復元船建造に貢献

村上造船所棟梁 村上定一郎

第4回世界陸上選手権女子マラ  
ソンで日本人初の優勝

陸上選手 浅利 純子

全国高校駅伝で初の男女同時優勝

仙台育英学園高校陸上競技部

一世紀にわたるキリスト教主義教育  
で人間性豊かな女子の育成に寄与

学校法人 尚 綱 女 学 院  
学校法人 仙台白百合学園



<p>トネル内通信法の発明と実用化に貢献</p> <p>東北大学教授 千葉 二郎</p> <p>多年にわたり東北書道界の発展向上に寄与</p> <p>書家 田村 桃溪</p> <p>国宝・重文など仏像彫刻の保存、修理における功績</p> <p>財団法人美術院 国宝修理所長 小野寺久幸</p> <p>東北剣道界の発展、向上に寄与</p> <p>宮城県剣道連盟 副会長兼理事長 堀籠 敬蔵</p> <p>第72回日本ノルディックススキー選手権で4冠を達成</p> <p>山形県総合運動都市公園公社 体育主事 青木富美子</p> <p>一世紀にわたる個性尊重教育で、有為な人材の育成に寄与</p> <p>学校法人 南光学園東北高等学校</p>	<p>第44回受賞者</p> <p>(平成6年度)</p>
<p>未開の金属材料「金属間化合物」を実用化に貢献</p> <p>東北大学名誉教授 和泉 修</p> <p>大腸がん集団検診方法の確立に寄与</p> <p>弘前大学教授 吉田 豊</p> <p>同 講師 齋藤 博</p> <p>民間人として郷土史研究に尽くした功績</p> <p>郷土史家 紫桃 正隆</p> <p>東北の芸術文化振興に尽力し、後進の育成に貢献</p> <p>仙台市民ギャラリー 理事長 宮城 正俊</p> <p>カヌーの町づくりに取り組み、国体2連覇を達成</p> <p>福島県カヌー協会 難病患者に光をともし20年</p> <p>社会福祉法人 ありのまま舎</p>	<p>第45回受賞者</p> <p>(平成7年度)</p>
<p>国語学研究ならびに東北の国語教育における功績</p> <p>東北大学名誉教授 佐藤喜代治</p> <p>新生児呼吸窮迫症候群の療法を開発した功績</p> <p>岩手医科大学教授 藤原 哲郎</p> <p>金工作家として伝統工芸の継承と発展に寄与</p> <p>人間国宝 高橋 敬典</p> <p>創造花火の開発と国際交流における功績</p> <p>全国花火競技大会 「大曲の花火」実行委員会</p> <p>腹腔鏡の臨床応用ならびに地域医療への貢献</p> <p>本荘第一病院院長 小松 寛治</p>	<p>第46回受賞者</p> <p>(平成8年度)</p>
<p>音の知覚と地域音環境改善の研究における功績</p> <p>東北大学教授 曾根 敏夫</p> <p>日本画家として東北画壇の発展と後進の育成に尽力</p> <p>日本画家 能島 康明</p> <p>世界初の北極海単独歩行横断を成し遂げた功績</p> <p>冒険家 大場 満郎</p> <p>耐震ガラスなど新製品開発と観光による地域活性化に貢献</p> <p>佐原硝子社長 佐原 得司</p> <p>洋上救急医療体制の確立に貢献</p> <p>仙塩総合病院理事長 鈴木 寛</p>	<p>第47回受賞者</p> <p>(平成9年度)</p>

第48回受賞者

(平成10年度)

電子的神経・筋系制御システムの開発とその臨床応用における功績

東北大学教授 星宮 望

同 井口 泰孝

同 半田 康延

難治性肝疾患並びに肝癌の病態解析と治療の推進に対する功績

岩手医科大学教授 佐藤 俊一

多年にわたり東北川柳界の発展向上に寄与

川柳作家 菅原 一字

空手世界選手権優勝、アジア大会2連覇、国体6連覇、全日本選手権7連覇を達成

空手選手 阿部 良樹

実学教育により120年にわたって人材育成、社会の発展に寄与

学校法人 朴沢学園

第49回受賞者

(平成11年度)

近世武士住宅に関する一連の研究および仙台城復元計画案策定

東北大学発着教授 佐藤 巧

東北地方における音楽文化の振興・発展への貢献

(財)仙台フィルハーモニー管弦楽団

全国高校選抜大会、インターハイ、国体で高校バレー3冠を達成

古川商業高校女子バレーボール部

インターハイ卓球男子団体3連覇を含む全国大会8連続優勝

青森山田高校卓球部男子

葉いもち初発生時期の予察システムを確立し、稲の安定生産技術の開発に貢献

東北いもち病発生予察研究グループ

第50回受賞者

(平成12年度)

肺移植システムの確立など、一連の呼吸器外科療法開発の功績

東北厚生年金病院院長 藤村 重文

多年にわたり郷土画壇の発展と芸術文化の振興に寄与

洋画家 成瀬 忠孝行

明治の芝居小屋を活用した幅広い芸術文化活動への貢献

秋田県小坂町 康 楽 館

シドニーオリンピック・ソフトボール競技で銀メダル

日立ソフトウェア社員 斎藤 春香

強耐冷性・良食味水稲「ひとめぼれ」の育成

佐々木武彦ほか、ひとめぼれ育成グループ

一世紀にわたり生活に密着した教育と人材の育成に寄与

学校法人 三島学園

第51回受賞者

(平成13年度)

多賀城跡等の発掘調査を通して東北古代史の解明に尽くした功績

宮城県多賀城跡調査研究所

岩手県大迫町での高血圧疫学研究と地域医療貢献

大迫研究グループ

多年にわたり東北日本画界の発展向上に寄与

日本画家 畑井美枝子

東北の伝統芸能を素材にした半世紀にわたる舞台創造の功績

秋田県田沢湖町 劇団わらび座

多年にわたり地域医療に貢献

大泉記念病院院長 高橋 孝

第52回受賞者

(平成14年度)

光導波技術の革新

東北学名譽教授・  
東北学未来科学技術共同研究センター客員教授  
川上彰二郎

粒状体力学の研究とその応用の発展  
に関する功績

東北学名譽教授 佐武 正雄

俳句を通じ地域文化の向上に寄与

須賀川市 桔槔吟社

「茂重波」系統種雄牛の造成事業推進  
により肉用牛産業の活性化を実現

種雄牛造成推進グループ  
(代表者) 山岸敏宏(東北学名譽教授)

アテルイ、モレの顕彰活動で地域振  
興に貢献

胆江地域顕彰グループ  
(代表者) 後藤農水沢市長

第53回受賞者

(平成15年度)

中世東北史の研究と普及に貢献

福属学名譽教授 小林 清治

多年にわたり東北文芸界の発展向上  
に寄与

歌人 扇畑 利枝

産学官連携により東北地域における  
産業振興・発展に貢献

前東北インテリジェントエヌエー機構推進協議会会長  
石田名香雄

百寿を超えてなお経済人として活躍  
し、地域経済の発展に寄与

仙台商工会議所顧問 今泉 清

自然環境保護活動と環境教育に対す  
る功績

牡蠣の森を築く会代表 畠山 重篤

第54回受賞者

(平成16年度)

がんに対する生体の防御機構の発見  
とその後の免疫学研究における功績

山形大学学長 仙道富士郎

ドキュメンタリー映画の普及振興に功績  
山形国際ドキュメンタリー映画祭実行委員会  
微細加工技術による地域産業等への貢献

東北学未来科学技術共同研究センター教授  
江刺 正喜

河川軸連携による県境を越えた  
地域づくりに寄与

北上川流域市町村連携協議会  
ドルトムント大会で優勝

プリンスホテル 荒川 静香

世界フィギュアスケート選手権  
ドルトムント大会で優勝

アテネオリンピックピックレスリング  
女子63キロ級で優勝

中京女子大学 2年 伊調 馨

アテネオリンピックピックレスリング 女  
子48キロ級で準優勝

中京女子大学 3年 伊調 千春

アテネオリンピックピック柔道  
男子90キロ級で準優勝

明治大学 4年 泉 浩

アテネオリンピック水泳競技で  
2種目に3位入賞

日本大学 2年 森田 智巳

第55回受賞者

(平成17年度)

津波総合防災の先駆的展開と貢献

日本大学大学院総合科学研究科教授  
東北学名譽教授

首藤 伸夫

全日本合唱コンクールで  
3年連続日本一

郡山市郡山第二中学校合唱部

全国大学対抗戦で男女合わせて  
20回優勝

東北福祉大学体育会ゴルフ部

冬の光の祭典を企画・運営し、  
地域へ貢献

SENDAI光のページェント実行委員会

一世紀にわたる個性尊重教育で、  
有為な人材の育成に寄与

学校法人 仙台育英学園

第56回受賞者

(平成18年度)

赤外レーザー医療装置の根幹技術の先駆的研究とその開発・実用化

東北大学名誉教授・  
仙台電機工業専門学校校長

宮城 光信

第77回都市対抗野球大会で初優勝、東北勢初の快挙

TDK硬式野球部

「あ・ら・伊達な道の駅」を経営し、地域住民にやりがいと活力を与えた功績

株式会社 池月道の駅

30年にわたり、仙台圏の地域医療支援に貢献

財団法人  
仙台市医療センター仙台オープン病院

第57回受賞者

(平成19年度)

単結晶材料の研究開発で東北の企業を育成した功績

東北大学多元物質科学  
研究所名誉教授

福田 承生

東北学の構築と実践による東北文化への功績

東北芸術工科大学院長 赤坂 憲雄

多年にわたり重度身体障害者の就労と社会復帰に貢献

錦戸洋服店代表取締役社長 錦戸光一郎

巨大ねぶたを復元し、東北の夏祭り  
に育て上げた功績

五所川原立佞武多運営委員会

第58回受賞者

(平成20年度)

バイオ技術に新しい道をひらく糖鎖工学の研究

弘前大学学長 遠藤 正彦

多年にわたり工芸界の発展と芸術文化の向上に寄与

陶芸家・宮城県芸術協会顧問 高倉 健

多年にわたり地域医療に貢献

医師・石巻市常備診療所所長 富永 忠弘

写真文化の普及発展に尽くした功績

財団法人 土門拳記念館

第59回受賞者

(平成21年度)

液晶の基礎研究および高性能液晶ディスプレイの開発

東北大学大学院  
工学研究科教授 内田 龍男

日本刀の制作を通じた日本人の心と文化の伝承

刀工 上林 恒平

もち性ヒエの開発とその利用による地域振興

岩手大学農学部附属余ウイールドサイエンス教育研究センター教授 星野 次注

「最上川やまがた雛の道」を提唱し、春の観光を大きく発展させた功績

おひな様研究家 安部 英子

第60回受賞者

(平成22年度)

資源の安定確保へ 秋田大学の挑戦  
 秋田大学学長 吉村 昇  
 多年にわたり陶芸界の発展と芸術文化の向上に寄与  
 陶芸家 針生 乾馬

バンクーバー冬季五輪 スピードスケート男子500メートル銅メダル  
 日本電産シキョー 加藤 条治

光エレクトロニクス半導体材料・素子・プロセスに関する研究  
 東北大学学際科学国際高等研究センター客員教授 八百 隆文

将棋を通して伝統文化の普及と向上に寄与するとともに社会貢献に尽力  
 ナカト代表取締役 中戸 俊洋

誰もが参加でき、気軽に楽しめる無料の市民音楽祭の定着を通じた地域活性化  
 定禪寺トリートメントフェスティバル実行委員会

第61回受賞者

(平成23年度)

家畜卵巣卵の高度利用技術の開発  
 東北大学大学院農学研究科教授 佐藤 英明  
 全国俳句山寺大会を半世紀にわたって開催した功績  
 山寺文化保存会

東北の地域づくり活動を先導し地域振興に貢献  
 民俗研究会 家・地域づくりプロデューサー 結城登美雄

地域伝統の食文化に学び、食育推進を実践した功績  
 学校入社登壇感導学調理科エンキョウチン

第62回受賞者

(平成24年度)

大脳の前頭野を活性化させる学習療法を開発、脳機能向上と認知症ケアに貢献した功績  
 東北大学加齢学研究所教授 川島 隆太  
 多年にわたり音楽界の発展と芸術文化の向上に寄与した功績  
 音楽家 片岡 良和  
 芸術を取り入れた稲作体験  
 「田んぼアート」で地域振興に貢献  
 青森県田舎館村むらおこし推進協議会

ロンドン五輪レスリング女子48キロ級で金メダル  
 自衛隊 小原日登美

ロンドン五輪アーチェリー男子個人で銀メダル  
 近畿大学職員 古川 高晴

ロンドン五輪卓球女子団体で銀メダル  
 A.N.A. 福原 愛

ロンドン五輪卓球女子団体で銀メダル  
 ミキハウス 平野早矢香

ロンドン五輪フェンシング男子フルール団体で銀メダル  
 ネクサス 千田 健太

ロンドン五輪フェンシング男子フルール団体で銀メダル  
 ネクサス 淡路 卓

ロンドン五輪バレーボール女子で銅メダル  
 日立 江畑 幸子

ロンドン五輪バレーボール女子で銅メダル  
 IT 大友 愛

第63回受賞者

(平成25年度)

地域がん登録によりがん対策の向上に寄与した功績  
 宮城県新生物レジストリー委員会

多年にわたり東北日本画壇の発展向上に寄与した功績  
 日本画家 能島 和明

高精度画像認識の研究とその応用展開ならびに情報技術を活用した震災犠牲者の身元確認における功績  
 東北大学大学院情報科学研究科教授 青木 孝文

日本車椅子バスケットボール選手権大会で5連覇  
 能楽師 喜多瀬謙分 佐々木宗生

宮城MAX

宮城MAX

宮城MAX

宮城MAX

宮城MAX

第64回受賞者

(平成26年度)

合金などの材料組織制御の基礎研究と東北企業との共同開発・製品化への功績

東北大学客員教授 石田 清仁

エルビウム光ファイバー増幅器の先駆的研究開発とそれを用いた光通信技術の高度化

東北大学大学院工学部電気通信工学専攻教授 中沢 正隆

多年にわたり宮城県の芸術界の発展と文化芸術の向上に寄与

公益社団法人宮城県芸術協会

庄内地域の伝統文化、芸術の保護・継承と地域産業振興への寄与

平田牧場取締役会長 新田 嘉一  
東北公益文科大学理事

ソチ冬季五輪フィギュアスケート男子シングルで金メダル

全日本空輪 羽生 結弦

第65回受賞者

(平成27年度)

東北地方および世界のがん医学への貢献

山形大学医学部 嘉山 孝正

40年にわたりオペラ文化の普及発展に貢献

一般社団法人仙台オペラ協会

多年にわたり美術界の発展と芸術文化の向上に寄与

彫刻家 土屋 瑞穂

原発事故の避難区域で操業継続、高い技術力で復興を牽引

株式会社菊池製作所



	年度		年度
本間 敏夫	昭61	<b>【も】</b>	
本間 正雄	平5	森 嘉兵衛	昭36
堀籠 敬蔵	6	本宮小学校 (福島県)	38
星宮 望	10	森口 多里	39
朴沢 学園	〃	百足 泰守	41
星野 次汪	21	毛利総七郎	42
		毛 越 寺	49
		最上梅檀会	平3
		森田 智己	16
<b>【ま】</b>		<b>【や】</b>	
真壁 仁	昭57	山形県婦人連盟	昭31
増本 健	平3	山口弥一郎	33
牧野 彰宏	28	谷村株式会社新興製作所	35
		山本美喜雄	38
<b>【み】</b>		柳田 英明	47
宮城県立農業試験場古川分場	昭32	山形県立山形西高等学校合唱団	48
三原 良吉	35	山形交響楽団	53
宮城県小牛田農林高校剣道部	36	山形大学北村昌美教授研究グループ	55
宮城県鼎が浦高等学校生徒会		八重樫 剛	平3
体育部フェンシング班	38	山形国際ドキュメンタリー	
三宅 義信	39	映画祭実行委員会	16
宮城県対がん協会	41	八百 隆文	22
宮城県更生育成医療整形外科指定医協議会	42	山寺文化保存会	23
三宅 義行	43		
宮川 善造	53	<b>【ゆ】</b>	
宮地 房江	59	結城哀草果	昭34
宮城県志津川漁業協同組合	61	結城登美雄	平23
宮城 学院	〃		
三ヶ田礼一	平4	<b>【よ】</b>	
宮城 正俊	7	吉岡覚太郎	昭36
三島 学園	12	吉池慶太郎	40
宮城県多賀城跡調査研究所	13	横山 満子	41
宮城 光信	18	吉田 孤羊	42
宮城県新生物レジストリー委員会	25	吉岡 邦二	51
宮城MAX	〃	吉田 豊	平7
宮城県芸術協会	26	吉村 昇	22
		<b>【わ】</b>	
<b>【む】</b>		渡辺 慈朗	昭38
村田 柴太	昭59	渡辺 穎二	39
村上 孝一	平5	若林 彊	40
村上定一郎	〃	和田 正美	45
		渡辺 セツ	49
<b>【め】</b>		渡部 忍	平4
明成高等学校調理科リエゾンキッチン	平23	わらび座 (秋田県田沢湖町)	13
明成高等学校男子バスケットボール部	28		



	年度		年度
富樫兼治郎	昭29	野口 正一	平 2
土居 光知	30	能島 康明	9
富田 兼康	36	能島 和明	25
東北地方建設局岩手工事事務所	44		
富岡 重憲	45		
東奥義塾高等学校スキー部	53	【は】	
東北大学漕艇部	55	畑中 正吉	昭48
東北学院	61	橋本八百二	50
遠野物語ファンタジー制作委員会	62	針生 嘉孝	52
東北福祉大学硬式野球部	平 3	八戸市立根城中学校合唱部	63
登米謡曲会	4	半田 康延	平10
東北いもち病発生予察研究グループ	11	畑井美枝子	13
東北福祉大学体育会ゴルフ部	17	畠山 重篤	15
富永 忠弘	20	針生 乾馬	22
土門拳記念館	々	羽生 結弦	26
【な】		【ひ】	
永井 健三	昭28	平田 森三	昭33
中川善之助	35	平山 諦	47
夏井 昇吉	37	弘前大学日本海中部地震研究会	59
南部 松夫	55	日蔭 暢年	60
永野 孫柳	々	桧枝岐歌舞伎・千葉之家花駒座	平 2
南光学園東北高等学校	平 6	平野早矢香	24
成瀬 忠行	12		
中戸 俊洋	22		
中沢 正隆	26		
		【ふ】	
		富士製鉄釜石製鉄所工務部並びに	
		東北大学工学部成瀬研究室	昭28
【に】		藤村 徳三	33
二村 忠元	昭30	藤岡 一男	40
日本化学研究会	31	福井 文彦	42
西川町立大井沢自然博物館	33	富士製鉄釜石製鉄所ラグビー部	43
仁科 利英	々	藤島清太郎	49
乳井 義耀	40	深道 和明	52
西山 正治	47	福島県立安積女子高等学校合唱団	58
西澤 潤一	60	福島県カヌー協会	平 7
新野 直吉	平元	藤原 哲郎	8
錦戸光一郎	19	古川商業高校女子バレーボール部	11
新田 嘉一	26	藤村 重文	12
		福田 承生	19
		古川 高晴	24
		福原 愛	々
【ぬ】			
額賀 誠	昭31		
		【ほ】	
【の】		本間美術館	昭36
野田起一郎	昭44	堀田 秀之	39
農林省果樹試験場盛岡支場リンゴふじ育成グループ	49	本田 安次	46
農林省東北農業試験場栽培第一育成グループ	50	法華三郎信房	53

	年度
<b>【し】</b>	
渋川伝次郎	昭30
渋谷 洪衛	32
庄司吉之助	37
荘司 福	〃
下平 三郎	40
島影せい子	47
司東 真雄	53
渋谷栄太郎	54
新日本製鉄釜石製鉄所ラグビー部	57
尚綱女学院	平5
紫桃 正隆	7
種雄牛造成推進グループ(宮城県)	14
首藤 伸夫	17
定禪寺ストリートジャズフェスティバル実行委員会	22

<b>【す】</b>	
鈴木 弼美	昭30
杉山 尚	47
杉本 行雄	48
鈴木千賀志	49
菅原弥三郎	51
須藤 克三	54
鈴木 二郎	56
鈴木 武夫	57
杉村 惇	58
末永 喜三	62
鈴木 寛	平9
菅原 一字	10

<b>【せ】</b>	
仙台管区气象台	昭27
石油資源開発株式会社秋田鉱業所	35
仙台市立五橋中学校	45
仙台市立病院	47
芹澤 長介	60
仙台いのちの電話	平4
仙台赤十字病院周産期センター	
新生児未熟児集中治療部門	〃
仙台育英学園高校陸上競技部	5
仙台白百合学園	〃
全国花火競技大会	
「大曲の花火」実行委員会	8
仙台フィルハーモニー管弦楽団	11
仙道富士郎	16
SENDAI 光のページェント実行委員会	17
仙台育英学園	〃
仙台市医療センター仙台オープン病院	18

仙台オペラ協会	平27
---------	-----

<b>【そ】</b>	
相馬野馬追保存会	昭62
曾根 敏夫	平9

<b>【た】</b>	
田口 啓作	昭27
只見川調査所関係所員	〃
高橋喜三郎	28
田中 稔	〃
武田忠一郎	29
館山 甲午	38
高橋とも子	44
竹本 常松	50
高橋 喜平	55
竹内 利美	58
高橋 富雄	59
瀧島 任	63
高橋 孝文	平2
田村 桃溪	6
高橋 敬典	8
高橋 孝	13
胆江地域アテルイ、モレ顕彰グループ	14
高倉 健	20
高橋 礼華・松友美佐紀	
バドミントン女子ダブルスペア	28

<b>【ち】</b>	
千葉あやの	昭37
致道博物館	46
千葉 仁	48
千葉 二郎	平6
千田 健太	24

<b>【つ】</b>	
円谷 幸吉	昭39
土屋 瑞穂	平27

<b>【て】</b>	
T D K 硬式野球部	平18

<b>【と】</b>	
東北高校漕艇部	昭26

	年度		年度
小原日登美	平24	小坂鉦業所	昭36
大友 愛	〃	後藤 秀弘	37
大井 龍司	28	小和田敏子	45
太田 忍	〃	国体福島県自転車チーム	59
		光星学院高等学校レスリング部	60
		後藤 由夫	61
<b>【か】</b>		小松 寛治	平 8
海鋒 義美	昭26	康楽館（秋田県小坂町）	12
片山 知又	31	小林 清治	15
鎌田 徳治	32	郡山市立郡山第二中学校合唱部	17
加藤陸奥雄	36	五所川原立佞武多運営委員会	19
勝平 得之	〃	郡山市立郡山第五中学校合唱団	28
神永 昭夫	39		
菅野 廉	46		
河野 満	52	<b>【さ】</b>	
上山市中川福祉村	56	佐藤 博治	昭27
海藤 勇	58	作左部 忠	28
利部 陽子	59	佐野 保	33
加藤 翠柳	61	酒井 馨	35
加藤 治郎	62	佐藤利三郎	37
加美山茂利	平 2	佐々木栄一	38
川上彰二郎	14	酒井軍治郎	41
上林 恒平	21	笹原 正三	〃
加藤 条治	22	佐々木寅次郎	44
川島 隆太	24	斎藤莊次郎	45
片岡 良和	〃	佐藤 哲夫	47
嘉山 孝正	27	澤井 七郎	51
		斎藤 英夫	52
		佐々 久	54
		佐藤 丑蔵	〃
<b>【き】</b>		斉藤 仁	59
菊池 喜充	昭32	坂本 勉	〃
木村 基弥	38	佐藤 壽雄	62
木下 彰	52	斎藤 清	63
桔 棹 吟社（須賀川市）	平14	佐伯 昭雄	〃
北上川流域市町村連携協議会	16	佐藤 満	〃
株式会社菊池製作所	27	佐藤 鬼房	平元
		佐々木一郎	〃
<b>【く】</b>		佐藤儀一郎	2
九嶋 勝司	昭44	佐藤 忠良	3
黒川 能座	46	斎藤 博	7
黒森歌舞伎	47	佐藤喜代治	8
工藤 章	51	佐原 得司	9
沓澤 則雄	平28	佐藤 俊一	10
		佐藤 巧	11
		斎藤 春香	12
<b>【こ】</b>		佐々木武彦ほか、ひとめぼれ育成グループ	〃
近藤 正二	昭27	佐武 正雄	14
国分 謙吉	31	佐藤 英明	23
後藤 桃水	34	佐々木宗生	25

# 河北文化賞受賞者 = 50音別索引 =

<p><b>【あ】</b></p> <p>阿部みどり女 昭30            秋田市竿灯会 34            秋田県農村医学会 39            秋田大学八郎潟研究委員会 43            秋田県立秋田工業高等学校ラグビー部 44            青森県水産増殖センター 46            有井 凌雲 51            秋田県立能代工業高等学校バスケットボールチーム ♪            荒木田裕子 ♪            天江 富弥 56            秋田市立城東中学校野球部 57            赤石 光生 59            安彦ひさ子 平元            秋田県農試「あきたこまち」育成グループ 3            浅利 純子 5            青木富美子 6            ありのまま舎 7            阿部 良樹 10            青森山田高校卓球部男子 11            荒川 静香 16            赤坂 憲雄 19            安部 英子 21            淡路 卓 24            青木 孝文 25</p> <p><b>【い】</b></p> <p>伊東 信雄 昭31            今井 史郎 32            今井 丈夫 34            伊藤 定雄 38            一ノ関史郎 39            岩崎 敏夫 40            池田 徹郎 42            猪股 一二 46            今泉 亀撤 48            岩手県住田町農業総合指導協議会 50            岩手県志和農業協同組合 54            板橋 源 56            岩手県立沼宮内高等学校女子ホッケー部 ♪            岩崎 敏夫 57            岩間 正男 60            五十嵐幸一 61            伊豆沼管理協議会 63            岩崎 俊一 平元            稲場 文男 4            和泉 修 7</p>	<p>井口 泰孝 平10            石田名香雄 15            今泉 清 ♪            伊調 馨 16            伊調 千春 ♪            泉 浩 ♪            池月道の駅 18            田舎館村むらおこし推進協議会 24            石田 清仁 26</p> <p><b>【う】</b></p> <p>宇田新太郎 昭26            内田 武志 45            宇野 松仙 51            内田 龍男 平21</p> <p><b>【え】</b></p> <p>遠藤 幸雄 昭39            FMC混声合唱団 43            遠藤 忠雄 50            遠藤 純男 51            江刺 正喜 平16            遠藤 正彦 20            江畑 幸子 24</p> <p><b>【お】</b></p> <p>小倉 強 昭26            太田麻之助 ♪            大原嘗一郎 29            太田口政治 ♪            小島 武雄 ♪            大坂 鷹司 31            太田孝太郎 34            小野 喬 39            大内 仁 ♪            奥津 春生 43            大山 功 52            扇畑 忠雄 54            太田 祖電 58            太田 章 59            小野寺久幸 平6            大場 満郎 9            大迫研究グループ（代表今井潤） 13            扇畑 利枝 15</p>
---	--

部門	年度	氏名
産業	35	石油資源開発株式会社秋田鉱業所 谷村株式会社新興製作所
	36	吉岡 覚太郎
	39	堀田 秀之
	41	渡辺 穎二
	45	斎藤 莊次郎
	46	青森県水産増殖センター
	48	畑中 正吉
	49	杉本 正雄
	50	農林省果樹試験場盛岡支場 リングふじ育成グループ
	52	遠藤 忠雄
	54	岩手県住田町農業総合指導協議会
	61	農林省東北農業試験場栽培 第一部育成グループ
	62	木下 彰
	63	岩手県志和農業協同組合
	63	志津川町漁業協同組合
	63	末永 喜三
	63	佐伯 昭雄
	平元	佐々木 一郎
	3	秋田県農業試験場「あきた こまち」育成グループ
	4	渡部 忍
	5	本間 正雄
	8	村上 定一郎
	8	全国花火競技大会 「大曲の花火」実行委員会
	9	佐原 得司
	11	東北いもち病発生子察研究グループ
	12	佐々木武彦ほか、ひとめぼれ 育成グループ
	14	種雄牛造成推進グループ（宮城県）
	15	石田 名香雄
	16	今泉 清
	16	江刺 正喜
	18	池月道の駅
	21	星野 次汪
	22	八百 隆文
	27	株式会社菊池製作所
	28	牧野 彰宏
	昭30	鈴木 弼美
	31	大坂 鷹司
	33	山形県婦人連盟
	33	佐野 保
	35	中川 善之助
38	本宮小学校（福島県）	
40	吉池 慶太郎	

部門	年度	氏名
社会 活動	42	宮城県更正育成医療整形外科 指定医協議会
	44	佐々木 寅次郎
	47	仙台市立病院
	49	渡辺 セツ
	51	澤井 七郎
	56	上市市中川福祉村
	57	鈴木 武夫
	58	太田 祖電
	59	村田 柴太
	61	学校法人 東北学院
	62	学校法人 宮城学院
	平元	相馬野馬追保存会
	2	安彦 ひさ子
	2	高橋 孝文
	3	社会福祉法人 最上梅檀会
	4	仙台いのちの電話
	5	学校法人 尚絅女学院
	6	学校法人 仙台白百合学園
	6	学校法人 南光学園東北高等学校
	7	ありのまま舎
	8	小松 寛治
	9	鈴木 寛
	10	学校法人 朴沢学園
	12	学校法人 三島学園
	13	高橋 孝
	14	胆江地域アテルイ、モレ顕彰グループ
15	畠山 重篤	
16	北上川流域市町村連携協議会	
17	SENDAI 光のページェント 実行委員会	
18	学校法人 仙台育英学園	
18	仙台市医療センター仙台オープン病院	
19	錦戸 光一郎	
20	五所川原立佞武多運営委員会	
20	富永 忠弘	
21	安部 英子	
22	吉村 昇	
22	中戸 俊洋	
23	定禪寺ストリートジャズフェスティバル 実行委員会	
23	結城 登美雄	
24	明成高等学校調理科リエゾンキッチン	
24	田舎館村むらおこし推進協議会	
25	青木 孝文	
26	新田 嘉一	

部門	年度	氏名
体育	29	太田口 政 治
〃	31	額 賀 誠
〃	32	鎌 田 徳 治
〃	36	小牛田農林高校剣道部
〃	37	夏 井 昇 吉
〃	38	鼎が浦高校フエンシング班
〃	39	小 野 喬 雄
〃	〃	遠 藤 幸 信
〃	〃	三 宅 義 吉
〃	〃	円 谷 幸 昭
〃	〃	神 永 昭 夫
〃	〃	一ノ関 史 郎
〃	〃	大 内 仁 耀
〃	40	乳 井 義 耀
〃	41	笹 原 正 三
〃	〃	横 山 満 子
〃	43	富士製鉄釜石製鉄所ラグビー部
〃	〃	三 宅 義 行
〃	44	秋田工業高校ラグビー部
〃	〃	高 橋 と も 子
〃	45	小和田 敏 子
〃	46	猪 股 一 二
〃	47	柳 田 英 明
〃	〃	佐 藤 哲 夫
〃	〃	島 影 せい 仁
〃	48	千 葉 仁
〃	51	秋田県立能代工業高校 バスケットボールチーム
〃	〃	荒木田 裕 子
〃	〃	遠 藤 純 男
〃	〃	菅 原 弥三郎
〃	〃	工 藤 章
〃	52	河 野 満
〃	53	東奥義塾高校スキー部
〃	55	東北大学漕艇部
〃	56	岩手県立沼宮内高校女子ホッケー部
〃	57	新日鉄釜石ラグビー部
〃	〃	秋田市立城東中学校野球部
〃	59	国体福島県自転車チーム
〃	〃	斉 藤 仁
〃	〃	太 田 章
〃	〃	赤 石 光 生
〃	〃	坂 本 勉 子
〃	〃	利 部 陽 年
〃	60	日 蔭 暢
〃	〃	光星学院高校レスリング部
〃	61	五十嵐 幸 一
〃	63	佐 藤 儀 満
〃	平2	佐 藤 儀 一郎
〃	3	東北福祉大学硬式野球部
〃	〃	八重樫 剛

部門	年度	氏名
体育	4	三ヶ田 礼 一
〃	5	浅 利 純 子
〃	〃	仙台育英学園高校陸上競技部
〃	6	堀 籠 敬 蔵
〃	〃	青 木 富 美子
〃	7	福島県カヌー協会
〃	9	大 場 満 郎
〃	10	阿 部 良 樹
〃	11	古川商業高校女子バレーボール部
〃	〃	青森山田高校卓球部男子
〃	12	斎 藤 春 香
〃	16	荒 川 静 香
〃	〃	伊 調 馨
〃	〃	伊 調 千 春
〃	〃	泉 浩 浩
〃	〃	森 田 智 己
〃	17	東北福祉大学体育会ゴルフ部
〃	18	T D K 硬式野球部
〃	22	加 藤 条 治
〃	24	小 原 日 登 美
〃	〃	古 川 高 晴
〃	〃	福 原 愛 香
〃	〃	平 野 早 矢 香
〃	〃	千 田 健 太
〃	〃	淡 路 卓 子
〃	〃	江 畑 幸 子
〃	〃	大 友 愛
〃	25	宮 城 M A X
〃	26	羽 生 結 弦
〃	28	高橋礼華・松友美佐紀 バドミントン女子ダブルスペア
〃	〃	太 田 忍
〃	〃	明成高等学校男子バスケットボール部
産業	昭26	太 田 麻 之 助
〃	27	仙台管区气象台
〃	〃	只見川調査所関係所員
〃	28	田 中 稔
〃	〃	富士製鉄釜石製鉄所工務部並びに 東北大学工学部成瀬研究室
〃	29	小 島 武 雄
〃	〃	富 樫 兼 治 郎
〃	30	洪 川 伝 次 郎
〃	31	片 山 知 又 吉
〃	〃	国 分 謙 吉
〃	32	菊 池 喜 充
〃	〃	宮城県立農業試験場古川分場
〃	〃	洪 谷 洪 衛
〃	33	藤 村 徳 三
〃	〃	平 田 森 三
〃	〃	仁 科 利 英
〃	35	酒 井 馨

部門	年度	氏名
学術	13	宮城県多賀城跡調査研究所
〃	〃	大迫研究グループ (代表今井潤)
〃	14	川上 彰二郎
〃	〃	佐武 正雄
〃	15	小林 清治
〃	16	仙道 富士郎
〃	17	宮藤 伸夫
〃	18	宮城 光信
〃	19	福田 承生
〃	〃	赤坂 憲雄
〃	20	遠藤 正彦
〃	21	内田 龍男
〃	23	佐藤 英明
〃	24	川島 隆太
〃	25	宮城県新生物レジストリー委員会
〃	26	石田 清仁
〃	〃	中沢 正隆
〃	27	嘉山 孝正
〃	28	大井 龍司
芸術	昭29	武田 忠一郎
〃	30	阿部 みどり 女
〃	34	後藤 桃水
〃	〃	秋田市 竿灯会
〃	〃	結城 哀草 果
〃	35	三原 良吉
〃	36	勝平 得之
〃	37	荘司 福
〃	〃	千葉 あやの
〃	38	館山 甲午
〃	39	森口 多里
〃	40	岩崎 敏夫
〃	42	吉田 孤羊
〃	〃	福井 文彦
〃	43	FMC 混声合唱団
〃	45	内田 武志
〃	〃	仙台市立五橋中学校
〃	46	菅野 廉
〃	〃	黒川 能座
〃	〃	致道 博物館
〃	〃	本田 安次
〃	47	黒森 歌舞伎
〃	48	山形県立山形西高校合唱団
〃	〃	毛越 寺
〃	49	藤島 清太郎
〃	50	橋本 八百二
〃	51	宇野 松仙
〃	〃	有井 凌雲
〃	52	針生 嘉孝
〃	〃	大山 功
〃	53	山形交響楽団
〃	〃	法華三郎 信房

部門	年度	氏名
芸術	54	扇 畑 忠雄
〃	〃	渋谷 栄太郎
〃	〃	須藤 克三
〃	〃	佐藤 丑藏
〃	55	永野 孫柳
〃	57	真壁 仁
〃	58	福島県立安積女子高校合唱団
〃	〃	杉村 惇
〃	59	宮地 房江
〃	60	岩間 正男
〃	61	加藤 翠柳
〃	62	遠野物語ファンタジー制作委員会
〃	63	斎藤 清
〃	〃	八戸市立根城中学校合唱部
〃	平元	佐藤 鬼房
〃	2	桜枝岐歌舞伎・千葉之家花駒座
〃	3	佐藤 忠良
〃	4	登米 謡曲会
〃	6	田村 桃溪
〃	〃	小野寺 久幸
〃	7	宮城 正俊
〃	8	高橋 敬典
〃	9	能島 康明
〃	10	菅原 一宇
〃	11	仙台フィルハーモニー管弦楽団
〃	12	成瀬 忠行
〃	〃	康楽館 (秋田県小坂町)
〃	13	畑井 美枝子
〃	〃	劇団 わらび座 (秋田県田沢町)
〃	14	桔 樟 吟社 (須賀川市)
〃	15	扇 畑 利枝
〃	16	山形国際ドキュメンタリー 映画祭実行委員会
〃	17	郡山市立郡山第二中学校合唱部
〃	20	高倉 健
〃	〃	土門拳記念館
〃	21	上林 恒平
〃	22	針生 乾馬
〃	23	山寺文化保存会
〃	24	片岡 良和
〃	25	能島 和明
〃	〃	佐々木 宗生
〃	26	宮城県芸術協会
〃	27	仙台オペラ協会
〃	〃	土屋 瑞穂
〃	28	沓澤 則雄
〃	〃	郡山市立郡山第五中学校合唱団
体育	昭26	東北高校漕艇部
〃	27	佐藤 博治
〃	28	作左部 忠
〃	〃	高橋 喜三郎

# 河北文化賞受賞者 =部門別索引=

部門	年度	氏名	部門	年度	氏名
学術	昭26	海鋒義美	学術	51	吉岡邦二
〃	〃	小倉強	〃	52	斎藤英夫
〃	〃	宇田新太郎	〃	〃	深道和明
〃	27	近藤正二	〃	53	宮川善造
〃	〃	田口啓作	〃	〃	司東真雄
〃	28	永大井健三	〃	54	佐々部久夫
〃	29	大二原嘗一郎	〃	55	南高橋喜平
〃	30	大土居光知	〃	〃	山形大学農学部北村昌美教授
〃	31	伊東信雄	〃	〃	研究グループ
〃	〃	日本化学研究会	〃	56	鈴木二郎
〃	32	今井史郎	〃	〃	板橋源
〃	33	西川町立大井沢自然博物館	〃	〃	天江富弥
〃	〃	山口弥一郎	〃	57	岩崎敏夫
〃	34	今井丈夫	〃	58	竹内利美
〃	〃	太田孝太郎	〃	〃	海藤勇雄
〃	36	本間美術館	〃	59	高橋富雄
〃	〃	富田兼康	〃	〃	弘前大学日本海中部地震研究会
〃	〃	加藤陸奥雄	〃	60	芹澤長介
〃	〃	森嘉兵衛	〃	〃	西澤潤一
〃	37	後藤秀弘	〃	61	後藤由夫
〃	〃	佐藤利三郎	〃	〃	本間敏夫
〃	〃	庄司吉之助	〃	62	加藤治郎
〃	38	木村甚弥雄	〃	〃	佐藤寿雄
〃	〃	山本美喜雄	〃	63	伊豆沼管理協議会
〃	〃	渡辺慈朗	〃	〃	瀧島任
〃	〃	佐々木栄一	〃	〃	平元岩崎俊一
〃	〃	伊藤定雄	〃	〃	新野直吉
〃	39	秋田県農村医学会	〃	2	野口正一
〃	40	藤岡一男	〃	〃	加美山利健
〃	〃	下平三郎	〃	3	増本健男
〃	〃	若林彊	〃	4	増稲場文
〃	41	酒井軍治郎	〃	〃	仙台赤十字病院周産期センター
〃	〃	宮城県対がん協会	〃	〃	新生児未熟児集中治療部門
〃	42	池田徹郎	〃	5	村上孝一
〃	〃	毛利総七郎	〃	6	千葉二郎
〃	43	秋田大学八郎潟研究委員会	〃	7	和泉修
〃	〃	奥津春生	〃	〃	吉田豊
〃	44	九嶋勝司	〃	〃	斎藤博
〃	〃	野田起一郎	〃	〃	紫桃正隆
〃	〃	東北地方建設局岩手工事事務所	〃	8	佐藤喜代治
〃	45	和田正美	〃	〃	藤原哲郎
〃	〃	富岡重憲	〃	9	曾根敏夫
〃	47	杉山尚諦	〃	10	星宮口泰望
〃	〃	平山正治	〃	〃	井半田康延
〃	〃	西今泉亀	〃	〃	佐藤俊一
〃	48	今鈴千賀志	〃	〃	佐藤藤村
〃	49	鈴木常松	〃	11	佐藤重
〃	50	竹本	〃	12	藤村重



# 本団役員、評議員

2017年

1月1日現在

理事長	一力 雅 彦	株式会社河北新報社代表取締役社長	評議員	宇部 文 雄	東北生産性本部会長
常務理事	鈴木 紳 一	株式会社河北新報社営業局事業 担当局長兼文化事業室長	同	有 川 幾 夫	宮城県美術館館長
理 事	里 見 進	東北大学総長	同	渡 辺 雄 彦	宮城教育大学名誉教授
同	伊 藤 敬 幹	仙台市副市長	同	佐 藤 孝 好	公益社団法人仙台市シルバー人材 センター理事長
同	久 道 茂	公益財団法人宮城県対がん協会会長	同	濱 田 直 嗣	宮城県慶長使節船ミュージアム館長
同	松 木 茂	東日本旅客鉄道 執行役員仙台支社長	同	鈴 木 隆 一	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会 理事長
同	松 澤 伸 介	東日本興業株式会社相談役	同	火 煙 雅 之	公益財団法人東北放送文化事業団 事務局長
同	大 場 尚 文	公益社団法人宮城県芸術協会理事長	同	加 藤 伊 佐 雄	株式会社河北新報社専務取締役
同	中 里 博 司	東北放送株式会社常務取締役	同	西 川 善 久	株式会社ベガルタ仙台代表取締役社長
監 事	三 井 精 一	株式会社仙台銀行相談役			
同	木 村 定	株式会社河北折込センター 代表取締役社長			